					図書の記号・番号	生基 704
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文		
	ページ	行				
1	17	上部	(別添 No. 1 参照)	(別添 No. 1 参照)		
2	36	図 23	(別添 No. 2 参照)	(別添 No. 2 参照)		
3	94	表 2	(برنت ، ا ،	収縮		
3	54		<u>縮記小</u>	<u>12.7/10</u>		
		右列				
		3段目				
4	112	3	9	の自己の細胞を直接攻撃する免疫である		
			の <u>非自己</u> の細胞を直接攻撃する免疫である	の目己の細胞を直接攻撃する	の免疫である	
		- IN				
		側注	移植された細胞なども含まれる。	キラーT 細胞は、他人から移技された細胞など *		
			1000	植された細胞なども攻撃する。		
L		1				

					図書の記号・番号	生基 704	
番号	訂正箇所		原 文		訂 正 文		
	ページ	行	<i>//</i> /		п ш Х		
5	93	10	して、 <u>通常は数日から数週間で</u> 心臓	して,通常は人工呼吸器を使	<u> 用しても数日で</u> 心臓		

別添

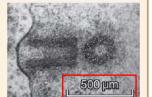
図書の記号・番号

生基 704

原 文 訂 文 No. 正

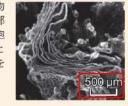
> 細胞分裂やべん毛・繊 毛の形成に関係する。 中心には1対の中心粒 がある。シダ植物やコ ケ植物の一部の細胞に もみられる。

中心体



細胞内で合成された物 質を細胞内の必要な部 分へ輸送したり, 細胞 外へ分泌したりすると きの中継をする役割を もつ。

・ゴルジ体



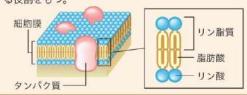
• 液胞 ◆ミトコンドリア◆ •核 核膜 -核小体-染色体-細胞質基質・ 細胞膜 葉緑体 ・リソソーム・ •細胞壁 物質の分解を行う。

《核の構造》

核は、核膜という二重の膜で覆われており、内部に は核小体と染色体がある。核膜には多数の穴(核膜 孔) があり、核と細胞質との連絡通路となっている。

《細胞膜の構造》

リン脂質がたがいに向かい合った二重層からなり、タン パク質が埋まっている。細胞への物質の出入りを調節す る役割をもつ。

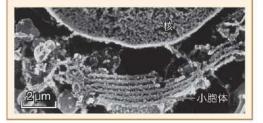


・リボソーム

細胞質基質にある微小 な構造で、タンパク質 の合成 (→p.65) が行わ れる場である。

小胞体

物質の通路となる。リ ボソームが付着してい るものと、していない ものがある。

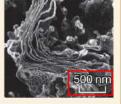


• は細胞小器官に分類されることを示す。

細胞分裂やべん毛・繊 毛の形成に関係する。 中心には1対の中心粒 がある。シダ植物やコ ケ植物の一部の細胞に もみられる。

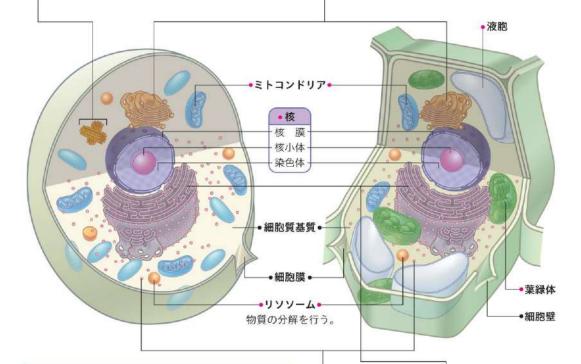


細胞内で合成された物 質を細胞内の必要な部 分へ輸送したり、細胞 外へ分泌したりすると きの中継をする役割を もつ。



中中心体

・ゴルジ体

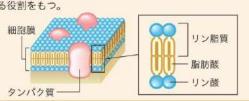


《核の構造》

核は、核膜という二重の膜で覆われており、内部に は核小体と染色体がある。核膜には多数の穴(核膜 孔)があり、核と細胞質との連絡通路となっている。

《細胞膜の構造》

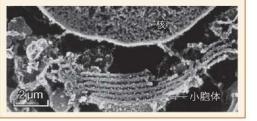
リン脂質がたがいに向かい合った二重層からなり、タン パク質が埋まっている。細胞への物質の出入りを調節す る役割をもつ。



リボソーム 小胞体

細胞質基質にある微小 な構造で, タンパク質 の合成(→p.65) が行わ れる場である。

物質の通路となる。リ ボソームが付着してい るものと, していない ものがある。



• は細胞小器官に分類されることを示す。



別添 訂正申請別添用紙 生基 704 図書の記号・番号 原 文 No. 訂 文 正

